

地域協議会第7期を振り返って

(基本、原文のまま)

15名中6名から提出。

1 地域づくりを進めるうえで思うこと

- 行政と民間の両面から様々なことを模索していく必要がある。行政は縦でつながっているが、民間との横のつながりをさらに強めていけると広がりがでてくるのではないか。
- 各年代の委員さんの意見を引き上げ協議し、出来れば早い決定と行動をしていけたら良いと思います。
- ろくに出席していないので、語れる資格がありません。
- 浜益区は高齢化が進んでいる。昆砂別では子どもが一人もいなくなった。地域に若者がいないということは、住民同志の助け合いにも限界があるということであり、支所が中心となり地域づくりを推し進めることが大切。地域住民がどこまでできるのか、できない部分をどう公助するのか、見極めが大事。
- 理解と協力。若い人が少なく、高齢化が進み、各地区団体の活動自体、大変なことが多いと思います。
- 地域協議会と支所は車の両輪である。議論の中で制度上の問題点や予算措置の可能性などの細かい説明が足りないように感じる。支所の積極的なコーディネートを期待する。会長の力不足、リーダーシップの無さを痛感しています。

2 地域協議会の役割について思うこと

- 市からの情報を的確に入手し、委員の皆さんや地域の方にお知らせできるように整理することが大切である。例えば中学校前庭に保育園を移転する計画等が現在どこまで話が進み、今後どのようなようになる予定なのかなど。
- 支所と住民の思いのパイプ役として、意見を出し協議し、議題の着地点を決めていけたら良いかと思います。
- ろくに出席していないので、語れる資格がありません。
- 地域の情報、思いを伝える大切な役割を担っていると思う。ゆえに委員一人ひとりが自覚し常にアンテナを高くしていくことが大切。しかし、自主参加ではない現状では、難しいかなー。でも選出されたということは、その素質が充分と判断されたと思う。だとしたら、その素質を充分、発揮されるような場作りが必要。つまり会議が楽しいとまでもいかななくても一人ひとりが意見を言えるような場であってほしいと思う。
- 個人的には、全然参加できていなかったと思います。多様な意見が知れたのは良かったこと。役割については、パイプ役であるとは思いますが…。
- 「要望・陳情」はダメ！が委員にプレッシャーを与え、議論が深まらない大きな要因となっている。要望・陳情・批判の中から協働のアイデアも出てくると思う。形にとらわれない自由な意見交換の場になればよい。

3 地域振興事業について思うこと

- 観光客（リピーター）を多く呼び寄せる。
- 合宿所（スポーツ、勉強、学級レク、宿泊学習等）の整備。
- 今の事業の維持と新事業の模索も必要？
- ろくに出席していないので、語れる資格がありません。
- 支所職員が懸命に考え計画した事業だと思うので、提案事業は基本的に言うことがない。なぜ地域協の確認が必要なのか？事業立案担当者が、こういう思い、願いで立案したんだけど、こういう所が不安、心配ということが伝われば、議論の余地があるんじゃないかと思う。
- どんな事業が行われて、使われているのか知ることができた。成果が出ているので、地域活性化に繋がっていると思います。継続を。
- 本来、行政が担うべきもの、基金を使わなければならないものを明確にしなければ、基金はすぐに底をつくと思う。行政側（支所）の適切なアドバイス、指導を期待する。

4 これからの地域づくりに必要と思うこと

- 難題であり、石狩市だけでできることではないが、日本海側に高速道路又は高規格道路を伸ばす。地域から人が減るのは決して浜益が嫌いな訳ではない。病院や高校の問題でこの地を離れる人が多い。道路ができれば浜益からでも高校に通うことができる。
- 高齢の方が多くなっていくので、今よりも少しでもすごしやすいところになってほしいと思うのと、外部からの人の流れもほしいですね。
- ろくに出席していないので、語れる資格がありません。
- 各地区の声が伝わることが大事。そのためには、地域コーディネーターが地区ごとにいればいいかと思う。でも、そんな人的余裕もない。としたら、支所職員がそれを担えないかなー。（各自治会の役員に積極的になるとか…）しかし、これも物理的にムリもあるので、やはり包括支援センターと生活コーディネーター（？）（瀧さん）の更なる強化が必要。
- 若い人の力。継続。協力。
- ただの夢物語ではなく、アイディアに込めた個々の思い、実現への道筋などを深掘りした提案を期待する。

5 その他

- ろくに出席していないので、語れる資格がありません。
- 地域協も若い人が多く入って、今後の活躍が大いに期待できる。若い人もそうではない人も同じ目線で楽しく交流、議論できる環境ができることを期待します。
- 農家、漁師の皆さん、商店、食堂の皆さん、高齢者、障がいを持つ方々、母親など多くの皆さんが、それぞれどんな要求を抱えているのか、色々な声を受け止められる協議会でありたいし、支所であってほしい。今のままで良いと考えている人は誰もいないと思う。